

平成 23 年度事業計画

(自平成 23 年 4 月 1 日 ~ 至平成 24 年 3 月 31 日)

．まえがき

長引く日本経済の低迷の影響を受け、特に建設産業の大きな落ち込みを反映して、コンクリートポール・パイルの需要は 21 年度、22 年度と大きく低迷しており、回復の兆しが見えない。さらには昨年度末、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大地震は、我が国全体の国民の生活不安と混迷を招いており、また、国内に限らず、国際的な経済の先行き不安をもたらしている。

このような状況の中で、平成 23 年度の需要を予測することは非常に困難であるものの、需要動向調査委員会において平成 23 年度のパイルの需要量を支持杭 1,060 千トン、節杭 175 千トン、高支持力対応杭 1,365 千トン、全体で 2,600 千トン前年度比 99%と予測した。

当業界を取り巻く、社会情勢及び経済情勢は先行き極めて不透明であるものの、本年度も業界の健全な発展に資するため、次の事業を計画し推進することとする。

．事業計画

1. コンクリートポール・パイルの製造及び品質に関する普及・啓発

《総務・広報部会及び事務局》

- (1) 官公庁、報道機関、調査機関及び試験機関への対応
- (2) 中小企業信用保険法の規定に基づく特定業種(セーフティネット保証制度)四半期毎に行われる業種指定への対応
- (3) 軽油取引税の免税対象業種への対応
- (4) 協会機関誌「礎」の会誌編集委員会への参画
- (5) ホームページの維持管理
- (6) 各地区事務局との連携を密にした業務の推進

《安全・環境部会及び事務局》

- (1) 労働災害・労災保険率及び安全表彰事業場調査報告書の作成
事業所数 災害件数・度数率・強度率
労災保険率 年間無災害事業場及び表彰事業場
- (2) 安全・環境部会及び地区安全・環境対策委員長定時合同会議の開催
- (3) 安全事業所表彰の実施

《需要拡大部会・事務局》

各地区からの需要拡大に関する活動状況を収集し、それらの情報を提供する。
なお、必要に応じて情報交換のための全国需要拡大委員会連絡会を開催する。

2. コンクリートポール・パイルの製造及び品質に関する情報の収集・提供

《需要動向調査委員会及び事務局》

(1) コンクリートポール・パイルの各種統計調査と分析

地区別生産・出荷及び月末在庫

都道府県別・需要部門別出荷

パイルの径別生産・出荷

(2) コンクリートポール・パイルの地区別需要動向調査及び次年度の需要予測

3. コンクリートポール・パイルの製造及び品質に関する調査・研究

《技術委員会及び事務局》

(1) 当協会の団体規格「プレキャスト鉄筋コンクリート製品、くい類 - 鋼管複合くい」の制定案の作成。

(2) コンクリート製品 JIS 協議会規格 JPCS の見直し。

(3) コンクリート製品 JIS 協議会の運営に参画し、JIS についての意見交換、関係所官庁への具申や要請。

4. コンクリートポール・パイルに関する内外関係諸機関との連絡提携及び協力

《事務局》

経済産業省、国土交通省、厚生労働省、試験機関等及び関係団体と連携を図りつつ、関係業務に対処する。

(1) 経済産業省等の所管庁からの要請に基づく、政府施策についての会員企業への周知。

(2) セメント関連団体協議会、社団法人日本建材・住宅設備産業協会等の事業に参加し、他業界との情報交換。

5. 本会の目的を達成するために必要な事業

次の3委員会の円滑な運営に努める。

(1) 特別委員会：緊急を要する重要な特別案件への対応。

(2) 運営委員会：正副会長会議からの諮問事項について審議・答申するとともに協会の各委員会から理事会へ上申する案件についての調整・審議を行う。

(3) 公益法人移行検討会：公益法人制度改革に対応した移行作業の進捗管理、方針検討。